



琉通ロジスティクス
総合研究所

2023年度
第一期
第2回ロジスティクス人材育成研修報告書

日 時:2023年11月16日(木曜日)

会 場:アイムユニバースてだこホール

目次

- 1、プログラム・・・・・・・・・・ 2P
- 2、活動報告書・・・・・・・・・・ 3P-6P

プログラム

No	時間	分	プログラム	担当者
1	9:30-9:35	5	オリエンテーション	事務局
2	9:35-9:40	5	開講訓示	宮城理事
3	9:40-9:50	10	講義	雨宮講師
4	9:50-12:00	130	グループワーク（トイレ休憩各自）	研修生
5	12:00-13:00	60	お昼	事務局
6	13:00-13:30	30	グループワーク（USB事務局へ提出:13:30時間厳守）	研修生
7	13:30-13:55	25	プレゼン作戦タイム	研修生
8	13:55-14:15	20	ディベート作戦タイム（全チームの資料配布）	研修生
No	時間	分	プレゼンテーション&ディベート	担当者
1	14:15-14:20	5	ディベート方法の説明	事務局
2	14:20-14:25	5	プレゼンテーション Aチーム	研修生
3	14:25-14:30	5	プレゼンテーション Bチーム	研修生
4	14:30-14:35	5	作戦タイム	研修生
5	14:35-15:05	30	ディベートAチーム対Bチーム	研修生
6	15:05-15:10	5	講評	下地理事
7	15:10-15:20	5	休憩	参加者
8	15:20-15:25	5	プレゼンテーション Cチーム	研修生
9	15:25-15:30	5	プレゼンテーション Dチーム	研修生
10	15:30-15:35	5	作戦タイム	研修生
11	15:35-16:05	30	ディベート C対Dチーム	研修生
12	16:05-16:10	5	講評	下地理事
13	16:10-16:25	15	総評	雨宮講師
14	16:25-16:30	5	総括	新垣代表理事
15	16:30-17:00	30	会場片付け	事務局・研修生

第2回研修会チーム編成

1	Aチーム	琉球通運 課長 有馬 浩平	琉球通運 新垣 颯	産経運輸 次長 吉田 真寿	琉球通運航空 主任 本永 一貴
2	Bチーム	琉球通運 係長 大里 智美	琉球通運 主任 郭 施昱	琉球通運 主任 島袋 貴弘	琉球通運 主任 国吉 史丸
3	Cチーム	リウスイ 部長 東江 清和	琉球通運 係長 與儀 菜々子	リウスイ 主任 石橋 龍	大丸自動車 下森 稔生
4	Dチーム	大丸自動車 社長 砂川 孝史	産経運輸 部長 兼城 忍	琉球通運 課長 比嘉 博斗	琉球通運 主任 多和田 真吾

活動報告

2023年度 第一期第2回ロジスティクス人材育成研修会 活動報告書

日時・会場	2023年11月16日(木)09:30-16:30 浦添市AIMユニバース てだこホール マルチメディア室
出席理事	琉通ロジスティクス総合研究所:新垣代表理事、兼次理事、宮城理事、下地理事
出席研修生 15名	琉球通運株式会社:有馬浩平、比嘉博人、大里智美、與儀菜々子、多和田真吾、国吉史丸、島袋貴弘、郭施昱 (9名)
(1名欠席)	株式会社琉球通運航空:本永一貴(1名)
(敬称略)	株式会社産経運輸:兼城忍(1名)、吉田真寿(欠席)
別添資料2 参照	株式会社リウスI:東江清和、石橋龍(2名) 大丸自動車株式会社:砂川孝史、下森毬毛(2名)
聴講者 5名	トヨーカネツ:ソリューション事業本部 飯野恵参与、竹内理徳(2名) 琉球物流株式会社:常務取締役 友寄正己(1名)
(順不同)	那覇地域貨物運送協同組合:事務局 仲宗根睦 (1名) 学生サービスセンター株式会社:部長 中原義浩(1名)
講師	雨宮路男(株式会社エム・ロード・エキスパート)
研修テーマ	「琉球通運グループで取り組むロジスティクス課題解決」
研修題材	「ロジスティクスコンセプト2030:デジタルコネクで目指す次の産業と社会」 発行:日本ロジスティクスシステム協会(51ページ事前予習+ワークシート1枚事前課題出し)
研修内容	チーム別グループワーク(160分)、プレゼンテーション(各チーム5分)、ディベート(各30分)
別紙	研修で使用したワークシートは別紙添付資料を参照
研修ポイント	ディベート対戦を組み込み、主張する力、質問する力を訓練する為、難易度をワンステップ上げ行う。
事務局	琉通ロジスティクス総研:仲泊さつき、琉球通運:宮城信一郎、鈴木智博、金城勝江、玉城多恵

宮城理事より開講訓示

第1回講座は事前予習が足りなかったと感じた。本日は事前予習を生かし、前回足りなかった・できなかったところを1歩でも2歩でも前進させ研修を有意義なものにしてほしい。新垣代表理事が伝えたように頭脳を持って仕事に取り組まないと未来はなく発展がないと思う。それを皆さんもしっかり肝に銘じ、日々の仕事に取り組んでいただきたい。今日は最後までやり切る。ワークシートを埋める、時間の配分、役割をリーダーにまとめ上げてもらい、さらに自身の経験を活かし仮説を立て、自分の仕事に置き換えてしっかり取り組んでいてもらいたい。研修は楽しく、そしてぜひ何かを得てほしい。



1. 09:50～グループワーク(160 分間)

事前予習で課題資料から個々に抜粋したキーワードをチーム内で話し合いワークシートにまとめ上げる。

A チーム

(リーダー有馬さん、新垣さん、本永さん)

実施施策名

1. ドライバー残業時間の改善
2. 積み替え作業効率 UP
3. デジタル化を取り入れる人材の育成
4. 物流コスト改善



B チーム

(リーダー島袋さん、国吉さん、郭さん、大里さん)

実施施策名

1. ドライバー不足の解消
2. 高度人材育成
3. 規格・データ・業務プロセス等の標準化の推進
4. 異業種交流



C チーム

(リーダー石橋さん、東江さん、下森さん、與儀さん)

実施施策名

1. ドライバー不足
2. 労働生産性の向上
3. 適切な投資
4. 高度人材の育成



D チーム

リーダー比嘉さん、砂川さん、兼城さん、多和田さん)

実施施策名

1. ドライバー不足
2. 物流モデルの進化
3. 高度人材を育成しよう
4. 今こそまとまるとき

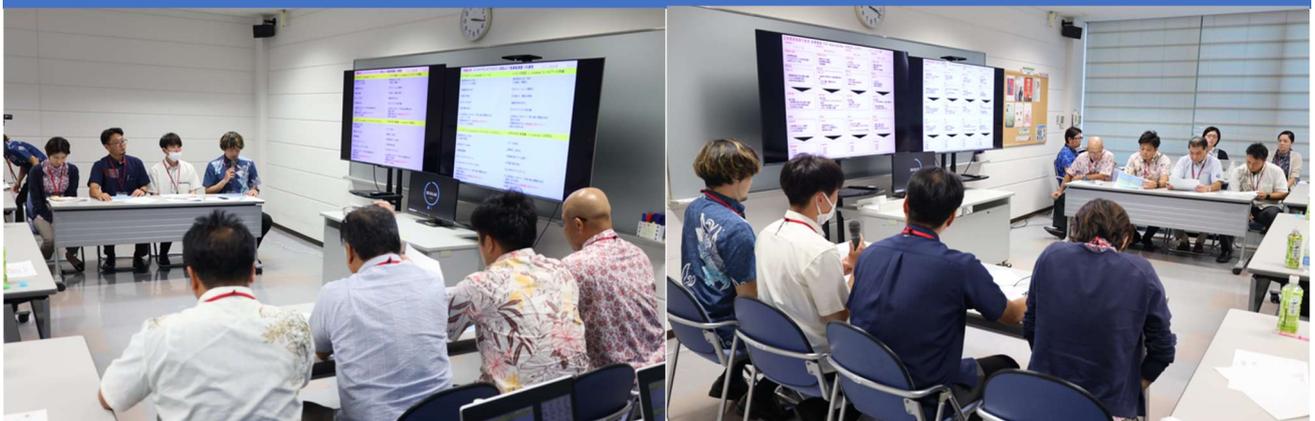


2. 14:20～プレゼンテーション(各5分)、Aチーム対Bチームのディベート(30分)



Aチーム：有馬さん、新垣さん、本永さん 対 Bチーム：島袋さん、大里さん、郭さん、国吉さん

3. 15:20～プレゼンテーション(各5分)、Cチーム対Dチームのディベート(30分)



Cチーム：石橋さん、下森さん、東江さん、與儀さん 対 Dチーム：比嘉さん、多和田さん、兼城さん、砂川さん



下地理事より4チームのプレゼンテーション、ディベートへの講評

両チームのリーダーの声がよく張っていたのは良い。Aチームはワークシートを記入できていないのが残念。ワークシートごとの勝ち負けはそれぞれだが全体的にはBチームに勝ちがあった。Cチームはワークシートを全て記入できていたのは素晴らしい。Dチームは2枚目以降から記入できていなかったのは残念。ディベートはなかなか面白かった。Cチームは空白に対して良く質問をしていた。判定はCチームに勝ちがあった。次回はシートを全部埋め、相手に質問の機会を与えるようにしてほしい。全チームを相対して人材・人員不足の課題が上がり、この人材育成があっただけでいいと思う。次回も頑張ってください。



雨宮講師より総評

今回はリーダーを明確にしてチームの責任を取ってもらう。リーダーシップとは与えられた条件の中でミッションを達成しなければならない。課題を改善する為には問題点をなぜなぜ?と5回繰り返すと真因である。これは改善のロジカルな考え方である(トヨタ自動車の例)。そして真因をどうしたら改善できるのかを考え、その結果は利益につながらなければならない。ビジネスマンは企業に所属する以上、どのような利益を作り上げられるのか?そのために何をするのかを考えなければならない。そのために投資が必要である。この研修も投資であり、投資にはリターン(ROI)を回収しなければならない。人件費率は売り上げの10%以内に抑えなければならない。標準化というのは誰もがいつでも同じようにできることであり、継続的に確実に仕事をこなす事である。我々はロジスティクス企業として若手に夢を与える(ユートピア)企業にしたいということであり、皆さんには何をするのか目的を持って取り組んでほしい。



新垣代表理事より総括

当初この研修は3回では難しいとの話であったが、今回、研修生の皆さんが資料を埋めることができるようになり、受け答えが良くなったことに驚いている。演習の内容に触れると、プレゼンテーションは、原則アドリブではダメです。アドリブは台本があつてのアドリブであることを知っていてほしい。今回の台本は自身の経験を活かし、仮説を立て計画的に組み立てていくことであり、それが企業の利益にもつながる。

チームとして計画をアウトプット、共有し、チームの意見をまとめることがいかに難しいかわかってきたと思う。みなさんには沖縄の物流を担うリーダーとしてそれを学んでもらい、ボトムアップではなくトップダウンでいかに根拠あるプレゼンを持って相手を納得させることができるかをこの研修を通して身に付けてもらいたい。皆さんの日々の成長を期待している。

